

---

# 年金の「見える化」Webサイト（仮称） デザイン説明資料

令和3年7月1日

株式会社日立製作所

# 1.1 趣旨と目的の理解

---

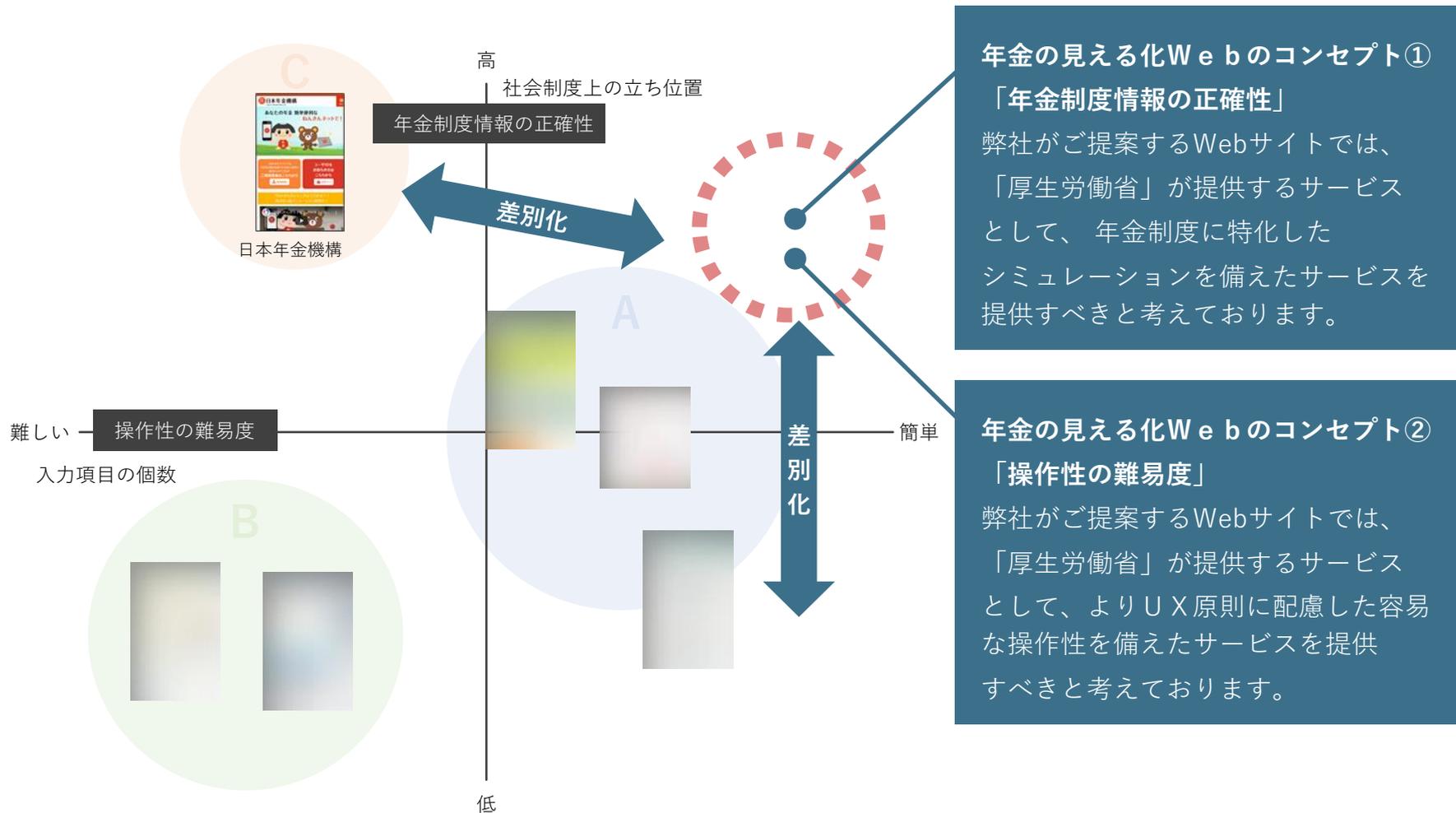
令和2年の通常国会において、年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律が成立し、受給開始時期の選択肢の拡大や短時間労働者に対する厚生年金保険の適用拡大等が順次予定されています。

これより、年金制度における様々な選択肢が広がることとなります。

年金の「見える化」Webは公的年金、私的年金を通じて、個々人の現在の状況と将来の見通しを全体として「見える化」し、老後の生活設計をより具体的にイメージできるようにし、国民の選択をサポートするための広報活動を目的と理解しております。

## 1.2 サイトのポジションの理解と基本コンセプト

年金のシミュレーションサイトは日本年金機構をはじめ、複数の民間事業者によるサービスが提供されています。弊社では、今回ご提案するWebサイト(シミュレーション)の位置づけを整理するために、「年金制度情報の正確性」と「操作性の難易度」を軸にセグメントし、類似サービスを配置しました。



# 1.2 サイトを起点とする意識の変化(CJM)の理解

本サイトを通してどのようなユーザーの体験を設計すべきかを以下のカスタマージャーニー (CJM) を前提とします。

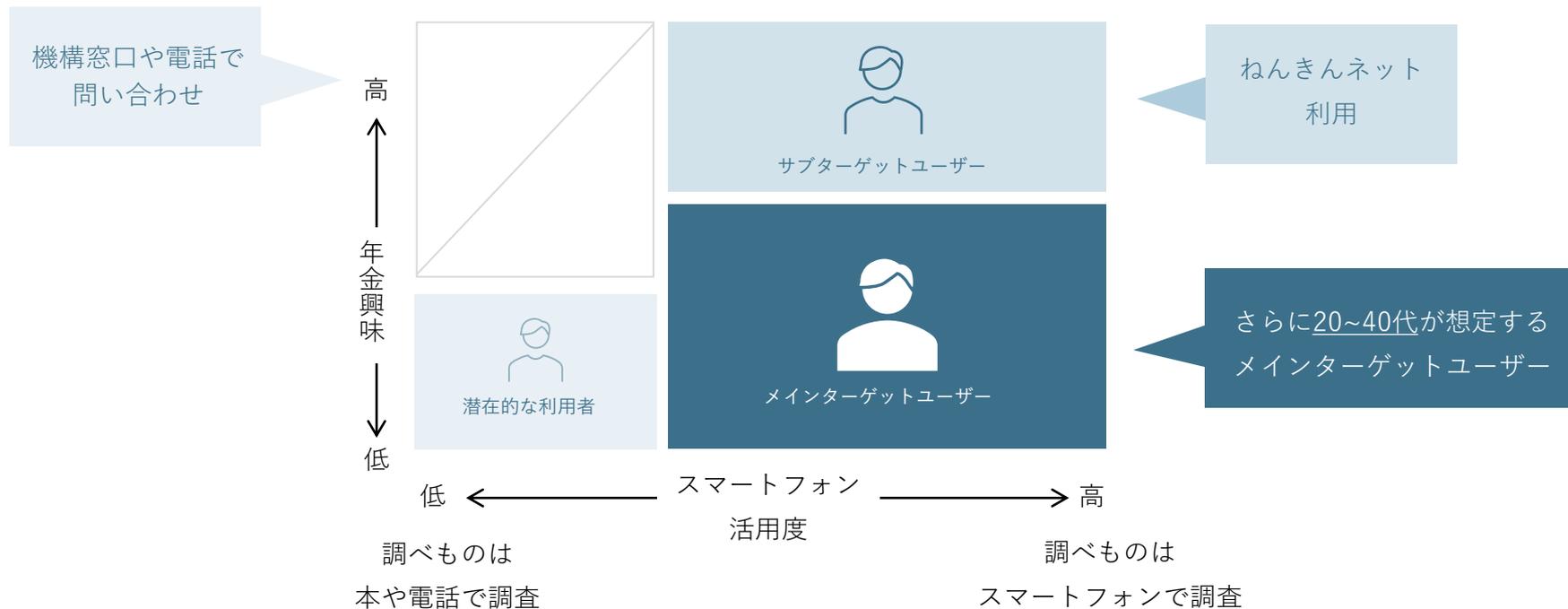
| Scene            | 1.認知と疑問↑                                                                                                                             | 2.理解と興味関心↑                                                                                                                              | 3.更なる理解と行動                                                                                                                                  |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Touch Point      | ねんきん定期便/メディア/世間話                                                                                                                     | スマートフォン(Web)/電話                                                                                                                         | スマートフォン(Web)/電話等                                                                                                                            |
| Action           | <p>ねんきん定期便</p> <p>メディア</p> <p>会話</p> <p>「わたし」の年金への疑問</p>                                                                             | <p>ねんきん定期便のQRコードを読み取り</p> <p>年金見える化web</p> <p>Webにアクセス</p> <p>将来のイメージが具体的になった</p> <p>機構へレター Web</p> <p>自身での探求 #Webでの情報収集/機構への問い合わせ等</p> | <p>ねんきんネット</p> <p>さらに詳細なシミュレーション</p> <p>シミュレーション結果の登録</p> <p>家計簿アプリ</p>                                                                     |
| Thinking (Needs) | <ul style="list-style-type: none"> <li>ねんきん定期便の見方が分からない</li> <li>制度が変わると何に影響するだろう</li> <li>いくら払っていくらもらえるだろう</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単に終わらせたい</li> <li>視覚的な理解を通じて将来の生活設計を考えたい</li> <li>様々な状況を見据えて金額を計算したい</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>もう少し正確なシミュレーションをしてみたい</li> <li>シミュレーション結果をもとに将来の資産形成に役立てたい</li> <li>更なる疑問が沸いたのでもう少し掘り下げたい</li> </ul> |
| Experience       | <ul style="list-style-type: none"> <li>ねんきん定期便の見方が分かる</li> <li>個々人の年金額の視覚化による理解促進</li> <li>見える化Webへのスムーズな誘導と動機付け</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>手間なく効率的に結果の取得</li> <li>将来のシミュレーション内容の理解と興味</li> <li>年金への興味・関心↑</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>ねんきんネットへのスムーズな誘導</li> <li>シミュレーション結果をもとにした資産形成の指南</li> <li>疑問を解決できる仕掛けの提供</li> </ul>                 |
| Idea             | <ul style="list-style-type: none"> <li>年金理解促進なコンテンツを付加</li> <li>定期便の見方や確認視点の付加</li> <li>シミュレーション結果の付加</li> <li>見える化webの紹介</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>シンプルな構成</li> <li>リアルな計算</li> </ul>                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>ねんきんネットへの導線の確保</li> <li>経験者談や専門家談のコンテンツ提供</li> <li>ねんきんFAQや問い合わせサポートへの導線確保</li> </ul>                |

今回のスコープ

# 1.3 ユーザーの理解

本Webサイトの想定利用者を“年金興味”と“スマートフォン活用度”を軸にセグメントし、本サービスのターゲットとなる利用者を分析します。

ユーザーセグメント



主な利用シーンとして「ねんきん定期便」をトリガーとした検索行動(QRコードの読み取り→web) ができるユーザーを想定しており、調べものはスマートフォンを活用、かつ年金に対する興味が低い利用者を考えております。

# 1.4 デザインコンセプトのご提案

## “簡単な”シミュレーションの実現

- 入力と結果の内容をインタラクションに表示
- ねんきん定期便からシームレスな遷移
- 自由度の高いシミュレーション
- シンプルな結果表示
- 入力の手間軽減

## メンタルモデルに寄りそう

- モバイルファーストなレイアウト
- シンプルな操作性
- プログレッシブディスクロージャーの考え方に  
基づいた情報表示

Simple  
UI

## 高い親和性

- 「ねんきん定期便」の表示要素を踏襲
- 「わたしとみんなの年金ポータル」のデザイン  
イメージを踏襲
- システムでの入力済を明示

## ユニバーサルデザインへの配慮

- Webアクセシビリティへの配慮
- 視認性・可読性の確保
- 色覚特性を持つ利用者への配慮
- ターゲットユーザーを想定した適度な配慮

## 2.1 デザイン案

コンセプトを踏まえ、以下のデザイン案をご提案します。



## Simple & Usability

「年金の見える化」の目的を達成するために、可能な限りシンプルな構成、及びデザインとすることで、年金に興味を持つきっかけを与えられるようなデザインとします。

※画面デザインは調整中であり、本検討会後のご意見を踏まえ内容が差し替わる可能性があります。

## 2.2 デザイン施策

### シンプルな結果表示

本Webサイトの主旨は年金制度の広い周知と理解しており、シミュレーション結果は詳細な内容よりも容易に理解可能な情報量が良いと考えております。

本Webサイトの利用シーンを考慮し、今回のシミュレーション結果は必要最低限の情報量とシンプルな構成とすることで、より容易に理解できるようにしております。

(#ヒックの法則)



### シンプルな入力方式

基本の入力項目となる「受給開始年齢」～「就労完了年齢」はデフォルト値をセットし、入力の手間を省略します。また修正操作の補助として「プラス」と「マイナス」ボタンを設置し、操作の効率化を図ります。

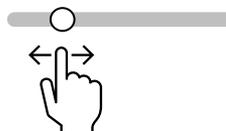


Tap



Click

操作オブジェクトについては“タップ (クリック)”のみのシンプルな操作方式とします。



Swipe

スライダーバーは視覚的・感覚的に入力でき負荷を下げる入力コントロールである一方、細かい数字の調整をするのは不向きとなります(多くのエリアを必要とします)。

「今後の賞与額」や「今後の月収」等、入力幅が広い項目についてはキーボードを用いた入力方式をお勧めします。

## 2.2 デザイン施策

### 入力内容と結果のインタラクティブな操作

入力内容(QRコードでの登録内容)と結果(グラフ)がインタラクティブに変わること、利用者が将来受け取る年金額のイメージをしやすくなるようにします。



### 結果を見ながらシミュレーションが可能

結果画面は画面上部に常に表示し、画面下部に試算時の入力内容が反映されるUIとすることで、ユーザーは常に結果を見ながらシミュレーションすることが可能となります。入力内容と結果表示がインタラクションになることで、より良い洞察(シミュレーション)が可能となります。

## 2.2 デザイン施策

The image shows two side-by-side screenshots of a mobile application interface for the Ministry of Health, Labour and Welfare. The left screenshot shows a menu with three links: '+ 今後の就労期間の入力欄を開く', '+ 年金を受け取る年齢の入力欄を開く', and '+ 国民年金保険料の免除期間の入力欄を開く'. Below these links is a button labeled '試算実施'. A red double-headed arrow points from this menu to the right screenshot. The right screenshot shows a form titled '試算結果' with a sub-header '今後の就労期間を入力してください'. It has two sections: '働き方①' and '働き方② 前職'. The '働き方①' section has buttons for '会社員・公務員', '自営業', 'パート・アルバイト', '専業主婦', and 'その他'. The '働き方② 前職' section has the same buttons, but '自営業' is highlighted with a red box. Below this is a '期間' section with date pickers for 2021 and 2022, and input fields for '給与 (月額)' (45 万円/月) and '賞与 (年額)' (0 万円/回). At the bottom is a button '+ 働き方の追加'.

### 段階的な情報表示

モバイル機器の画面は小さく、一度に多くの情報量を詰め込むのは得策ではありません。初期は少ない情報量から、**段階的にオプションを表示**することでシンプルに、そして確実に必要な情報に迫ることが可能となります（# **プログレッシブディスクロージャー**）。

特に本サービスの特徴から、ユーザーにシンプルに利用してもらうためにも有効と考えます。

### 表示された選択肢での操作

スマートデバイスにおいて、ドロップダウンの操作は少し複雑になってしまいます。選択肢が限られる場合は(レイアウト上の制約が少なければ)選択肢を表示し、シンプルなタップ操作にて選択を行うことを提案します。

また選択肢は年号、日などの数値を除き7つ以下とします。（# **ミラーの法則**）

## 2.2 デザイン施策

### デザインイメージの踏襲

本Webサイトの主な利用シーンとしては、「ねんきん定期便」のQRコードから遷移してくるシナリオを想定しております。ただ一部のユーザーは通常のWeb利用の中で訪れることが考えられ、「厚生労働省ホームページ」、「わたしとみんなの年金ポータル」、年金関係団体のWebページから遷移するユーザーもいることが考えられます。これらのWebページから遷移しても違和感がなく、一つのサービスとしてスムーズな利用できるよう、カラースキームを合わせ、デザインの一貫性の保持を検討しております。

### ヘッダ・フッタの踏襲

一例として、「年金ポータル」や「厚生労働省ホームページ」等のデザインを踏襲することで「厚労省としての安心感」を持たせるとともに、サイト内の横断的な利用の検討も行います。



## 2.2 デザイン施策

### 「ねんきん定期便」との親和性配慮

「ねんきん定期便」はがきのQRコードから遷移しても違和感なく、スムーズな利用できるように、「ねんきん定期便」で用いられている項目・項番を合わせ、親和性の配慮を行います。

また「ねんきん定期便」から引き継いだ項目については「✓自動入力済」を併記し、ユーザーに注意喚起します。



|               |   |
|---------------|---|
| (1) 老齢基礎年金    | 円 |
| (2) 老齢厚生年金    |   |
| 一般厚生年金期間      | 円 |
| 公務員厚生年金期間     | 円 |
| 私学共済厚生年金期間    | 円 |
| (1) と (2) の合計 | 円 |



|            |           |
|------------|-----------|
| (1) 老齢基礎年金 |           |
| 老齢基礎年金     | 200,000 円 |
| (2) 老齢厚生年金 |           |
| 一般厚生年金期間   | 200,000 円 |
| 公務員厚生年金期間  | 0 円       |
| 私学共済厚生年金期間 | 0 円       |
| (1)+(2)の合計 | 500,000 円 |

## 2.2 デザイン施策

### ユニバーサルデザインへの配慮

本Webサイトでは想定するターゲットユーザーから弱視ユーザーを含め、以下の観点等での配慮を検討します。

#### ロービジョン(弱視)ユーザーへの可読性確保

Webアクセシビリティの規格「JISX8341-3:2016」では中度のロービジョンの人が適切に文字を読みやすくするためには背景色と文字色のコントラスト比を4.5以上を確保することが記載されています。

本Webサイトにおいても、上記の指針に則ってカラースキームを設計します。

試算実施



コントラスト比：1.78

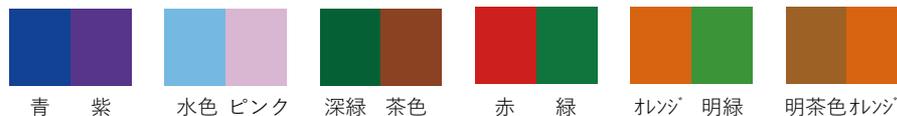
試算実施



コントラスト比：8.38

#### 色弱者に判別できない色の組み合わせは用いない

色に依存した情報提供を避けるように検討しますが、グラフ等、色を組み合わせる場合は色弱者が区別できないような色の配色を避け、判別可能な配色を行います。



「東京都カラーユニバーサルデザイン」から一部引用

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kiban/machizukuri/kanren/color.files/colorudguideline.pdf>